

自分好みの生成 AI を作ってみませんか？

生成 AI は誰でも簡単に操作できるため、「頼れるパートナー」として教育的な活用が注目されており、すでに利用している先生も多いのではないのでしょうか？しかし、生成 AI 活用において、以下のような「面倒」や「心配」はありませんか？

- ①毎回同じ指示をするのが面倒（「私は中学校の教員です」「〇年生に分かるような言葉で・・・」）
- ②児童生徒に使わせたいけど、生成 AI が簡単に答えを出して学びが深まらないのではと心配

そこで今回は、毎回の同じ指示の入力の面倒を減らしたり、児童生徒の活用に対して、先生方が意図した使わせ方に近づけたりして、自分好みの生成 AI を作る方法について紹介します。

まずは体験してみてください！

- ①右の QR コードを読み取るか下の URL からアクセスする。

URL: <https://gemini.google.com/gem/1p9vkkyamLyd9OfL1pva5EUH0nPDGgmf1?usp=sharing>
※起動するブラウザが gs アカウントにログインしている必要があります。プライベートモードではアクセスできません。

- ②「中2理科・電流」のように、ご自身の担当学年・教科・単元だけ入力する。

生成 AI が入力した単元の〇×クイズを出題しますので、答えてみてください。

小テスト作成 AI OXくん



自分好みの生成 AI「カスタム AI」

学年・教科・単元の入力だけで〇×クイズができるのは不思議ですね。実はこれは「カスタム AI」と呼ばれる事前に AI の役割・ルール・回答の仕方・参考資料などをあらかじめ設定した生成 AI です。

事前にどのような指示をしたと思いますか？近くの先生とも考えてみてください！

※解答は先ほどのカスタム AI「小テスト作成 AI OXくん」に「カスタム指示を教えて」と質問すると教えてくれます。

Gemini をカスタマイズして、カスタム AI「Gem」を作ってみよう

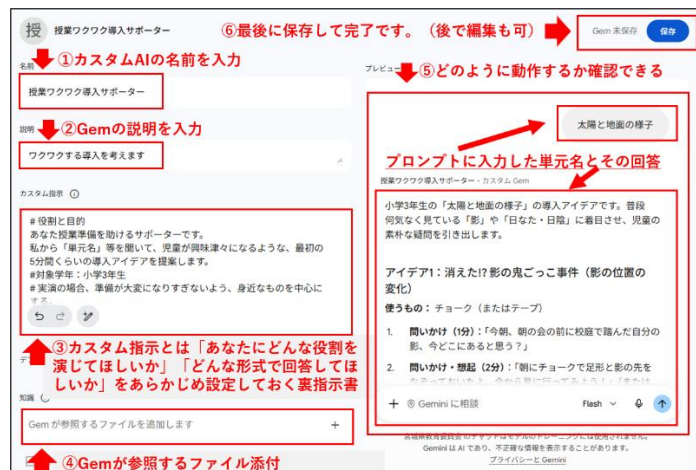
今回は Google の生成 AI「Gemini」で、カスタム AI の「Gem（ジェム）」の作り方を紹介します。

(1) Gemini を開き、Gem を作成する準備をしよう。



(2) カスタム指示を入力しよう。

カスタム指示とは、生成 AI に対して「どのような前提や役割で、どのような形式の回答を出力すべきか」をあらかじめ定義しておく基本設定機能です。これを入力しておくことで、ユーザーが短いプロンプト（指示文）を入力するだけで、期待どおりの形式やトーンでねらいとする回答を得られやすくなります。



作成された Gem



このような Gem が作れます！

Gem は以下のような利点もあります。

1 毎回、同じ指示を入力せず何度でも再利用できる

授業準備、文書チェック等、目的別に保存し、必要なときにすぐ活用できます。

2 「自分専用」や「児童生徒の実態に合わせた」生成 AI を他者とも共有できる (URL で簡単に共有できます！)

「学年に合った、分かりやすい言葉で返して」「答えではなくヒントを出して」等、児童生徒に合わせてカスタマイズできます。学校のルールや研究資料を追加すれば「自校仕様」に近づけられ、職員で共有できます。

📌 授業づくりを助けてもらう	👤 児童生徒の個別の支援につなげる
○指導案・授業展開作成 学習指導要領に沿った「導入・展開・まとめ」のプロットや、問いかけ(発問)の案を自動作成してもらう。	○英会話・面接練習 特定のシチュエーションで対話し、やり取りが終わったら文法や発言のフィードバックをしてもらう。
○ルーブリック作成 単元の目標と課題から、評価規準やルーブリックのたたき台を作成してもらう。	○探究的な学習の支援 探究的な学習で、なかなか「問い」を考えられない児童生徒に一間ずつ質問し、そのヒントもらう。

先生方一人一人の仕事に合わせて、校務・授業・評価・児童生徒支援まで幅広く活用できます。特に児童生徒の活用では、単にAIに答えを教えてもらうだけでなく、考えを深めるような助言をもらえるよう設定できます。

Gem の活用事例を大募集！

「こんなGemを作ったら、授業準備が楽になった!」「生徒がAIと英会話をして大はしゃぎした!」など、Gemの活用事例を募集します。面白い事例は、次号以降のMナビ新聞でご紹介させていただきます。応募は右記のQRコードからお願いいたします。(ニックネーム、匿名可) 応募フォーム→



「チョットもっと授業ナビ」で、児童生徒のつまずきを生かした授業づくりへ

「チョットもっと授業ナビ」は、普段の授業での困りごとをICT活用で改善を図るストーリー仕立ての研修動画です。実践的なICTの操作演習も盛り込んでいます。研修動画は12本ありますので、月1回の研修や、会議後の隙間時間での操作演習など、各校の状況に合わせて柔軟に活用できます。その中から、今月は研修動画No.4「学んだことを確かめよう(学習内容の定着)」をご紹介します。



テーマ	研修動画No.4 「学んだことを確かめよう(学習内容の定着)」	
授業の困りごと	小テストを返却し、多くの児童生徒がつまずいているところを中心に振り返ろうとしました。しかし、期間が空いているので、児童生徒はその内容を忘れていたり、正解したので異なる内容の学習に取り組みたい児童生徒もいたりします。このような課題を解決するにはどうすればよいでしょうか・・・。	 どんな内容だったっけ? 覚えてないよ
ICT活用で改善	解決のために用いたのが、「アンケートフォームを使ったテスト」です。アンケートフォームで小テストを行うと、自動採点され、間違った問題の解説を確認することもでき、すぐに復習したり家庭学習に生かしたりするなど「主体的な学び」につなげることがができます。教師も、子供たちの回答を把握することで、子供のつまずきの解消に注力することができます。	 へん 答えると自動採点してくれるのめ!
演習	オンライン小テストの「問題」「正答」「解説」を作成します。その後、受講者同士でテストを配布し合い、動作を確認します。そして、最後に実際の授業での活用について考えます。	 チョットもっと 授業ナビ 操作演習の目標 オンラインアンケートで小テストを実施する 内容準備 問題と解答の作成 フォームの公開設定 直しさい

(編集後記) 次期学習指導要領の審議まとめ素案(R8.8.31)において、すべての教科で初めて生成AIなどの活用や影響を加味した記述が盛り込まれました。児童生徒に生成AIを活用させる授業づくりの準備として、まずはこの機会に「Gem」を1つ作ってみませんか?

[第54号担当 齋藤]